

こ

地域はみんなの宝島
こどもがまんなか みんなで「ずく」出し楽しもう！



しあわせ
信州

通学合宿の手引き資料編

- 5 参加費用 ○○○○円
- 6 募集期日及び申込方法 ○月○日（ ）まで
参加申込書に必要事項を記入の上、学校へ届けてください。
- 7 保護者向け説明会
[日時] 平成 年 月 日（ ）
[場所] ○○公民館
- 8 傷害保険
参加にあたっては全員傷害保険へ加入していただきます。保険金額は次のとおりです。
死亡・後遺障害 ○○○万円、入院日額○○○円、通院日額○○○円、
賠償責任（本人に責がある場合）○○○万円、携行品損害○○万円、
救済者費用○○万円、臨時費用○○万円
- 9 薬について
①主催者が投薬を行うことはできかねます。参加者は自分で管理し、飲めるよう通学合宿に参加するまでに保護者の方からお子様に指導していただきますようお願いいたします。
②他のお子様の薬との取り違えを防ぐためにも必ず、薬一包ずつに記名をお願いいたします。
③お子様が自分で薬の管理ができ飲める場合でも、必ず参加申込書（別紙）にご記入のうえ申し込んでください。
- 10 体調管理
体調を崩した場合は、実行委員で緊急搬送が必要と判断した以外は保護者の方に迎えに来ていただきます。

（きりとせん）

通学合宿参加申込書

★参加の決意をお子さん自身でお書きください。（保護者の方は意味を説明してあげてください。）

わたしは仲間と楽しく通学合宿に参加することをここに誓います。

記入日 年 月 日

小学校 年 組 参加者氏名 (自署)

★平成 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）まで開催される通学合宿に○○○○（参加児童名）を参加させます。なお、通学合宿参加中に、上記参加者が負うべき責任については、これを保護者が負います。

平成 年 月 日

(保護者名)

印



〇 〇 〇 通学合宿参加申込書(別紙)

参加児童				
学校名等	小学校 年 組			
ふりがな		血液型	A・B・O・AB・不明 RH ()	
氏名		身長	身長： c m	
性別	1. 男 2. 女	年齢	歳	体重
生年月日	平成 年 月 日	平熱	度	
保護者・住所連絡先など(緊急時の連絡に必要です。必ずご記入をお願いします。)				
ふりがな		電話番号	() -	
保護者氏名		FAX	() -	
住所		E-mail		
緊急連絡先 (合宿中に 必ず繋がる 電話番号)	連絡者氏名		連絡先	電話番号
	1		自宅・職場・携帯	() -
	2		自宅・職場・携帯	() -
	3		自宅・職場・携帯	() -
参加児童の健康に関する事項				
アレルギー	アレルギーがある場合は、アレルギーの種類・アレルギーの対応などの詳細をご記入ください。			
	<input type="radio"/> 食物アレルギー <input type="checkbox"/> あり・なし たまご・小麦・エビ(カニ)・貝・大豆・そば・果物 () 乳製品・落花生・その他 () 特記事項			
	<input type="radio"/> ハチアレルギー <input type="checkbox"/> あり・なし <input type="radio"/> エピペン(アドレナリン自己注射薬)の処方 <input type="checkbox"/> あり・なし			
その他	その他健康面について特記事項などあればご記入ください。			
特別な対応が必要な事項				
おねしょ	おねしょについて特別な対応が必要な事項をご記入ください。			
	1. 心配 2. 心配ない 夜間、トイレに起こす必要の有無 あり (時頃) ・なし その他			
その他	お子さんのことで特にスタッフに伝えておきたいことをご記入ください。 (服薬の必要がある場合や寝ばけくせ、生理等で特にスタッフが留意する必要がある事項をご記入ください。)			

※緊急連絡先は、日中・夜間を問わず連絡可能な方の電話番号等をご記入ください。
この調査内容は通学合宿のみに使用し、終了後は参加者へお返します。

通学合宿ボランティア募集！

通学合宿とは

通学合宿は、子どもたちが一定の期間家族の元から離れ、公民館など、地域の宿泊可能な施設で寝食を共にしながら異年齢の集団による共同生活を送り、学校へ通う取組です。合宿期間中は、炊事や洗濯、掃除など、自分たちの身の回りのことは子どもたち自身が行います。この活動を通して、自己効力感・自己肯定感を高め、コミュニケーション能力や自立心を育みます。

また、協力することや我慢すること、感謝することを子どもたち一人ひとりが身につけることも目的としています。この通学合宿は、地域の皆様にご理解とご協力をいただき、地域全体で実施することで、子どもたち・保護者の方・地域の方との結びつきを更に強めることにもつながります。

この通学合宿の期間中、子どもたちをサポートしていただくボランティアの方を募集します。

期 間：平成 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）
（協力いただくのは、1日または、時間単位でも可能です。）

場 所：〇〇〇公民館

募集対象

18歳以上で宿泊可能な方。

活動内容

子どもたちの生活指導。（登下校の見守り・食事準備と片付けの指導・洗濯や掃除の指導・学習指導・入浴指導・就寝時の指導など）

申し込み方法

申込書に記入の上、〇〇〇に提出ください。

傷害保険

ボランティアスタッフの方は全員傷害保険に加入していただきます。保険金額は次のとおりです。

死亡・後遺障害 〇〇〇万円、入院日額〇〇〇円、通院日額〇〇〇円、賠償責任（本人に責がある場合）〇〇〇万円、携行品損害〇〇万円、救援者費用〇〇万円、臨時費用〇〇万円

謝 礼

謝礼のお支払いはありません。

（1日あたり〇〇〇〇円の謝礼をお支払します。）

参加負担金

必要ありません。

（食費、寝具レンタル代、傷害保険料等〇〇〇〇円ご負担いただきます。）

（きりとりせん）

通学合宿ボランティア申込書

氏名：	年齢：	才
住所：	電話番号：	
特技・資格：		

保護者説明会資料（例）

1 趣旨

子どもの社会性は、異年齢の子どもたちや家族以外の地域の大人など様々な人間関係と、多様な物・事との関わりの中で培われます。しかし、現代は核家族化や少子化の進行などにより、様々な人間関係を築くことができなくなってきました。

また、従来、家庭での「役割分担」が与えられていた子どもたちは、子どもの仕事が増えるなど存在感や、自分はここまでできると自信「自己効力感」などを子ども自身が実感しにくくなってきています。

このような現状を踏まえ、子どもたちは異年齢集団での共同生活により、コミュニケーション能力と規範意識の向上を図るとともに、子ども・保護者・地域・学校の連携を深めて、地域の子どもは地域で育む意識をより高めることも目指しています。

2 通学合宿とは

子どもたちが一定期間家庭から離れ、公民館・集会所・青少年施設など地域の宿泊可能な施設で寝食を共にしながら集団による共同生活を送り、そこから学校へ通う取組です。合宿中は、炊事や洗濯、掃除など、自分たちの身の回りのことは、子どもたち自身が行います。この活動を通して、基本的な生活習慣と技能を身に付け自立心を高めます。また、コミュニケーション能力やお互いを思いやる心を養うとともに、子どもと保護者がお互いを見つめなおすきっかけとなることを目的としています。

3 主催者

（実施主体）〇〇通学合宿実行委員会

4 通学合宿の日時・場所

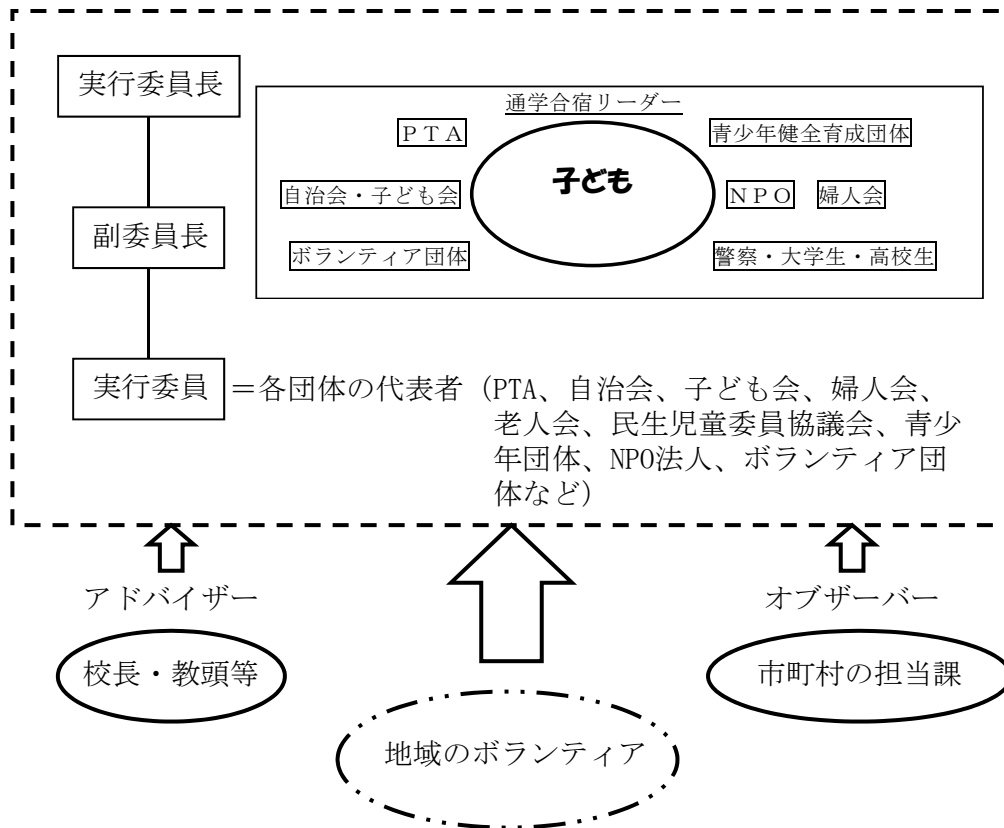
- ・日時 平成 月 日（ ）～ 月 日（ ） 〇泊〇日
- ・場所 〇〇公民館

5 通学合宿日程（別紙「通学合宿スケジュール」参照）

6 参加費

参加児童から〇〇〇〇円／1人 （食事代・保険料等個人に供するもの）

7 実行委員会の組織図（例）



8 留意いただきたいこと

- ・通学合宿の期間中は、原則として塾、習い事などには参加できませんのでご理解ください。
- ・荷物については、保護者が1日目の〇〇：〇〇～〇〇：〇〇の間に搬入してください。
- ・忘れ物等を届ける場合は、〇〇時までをお願いします。
- ・実施主体である実行委員会では、安全対策に万全を期し、参加中のけが等に際して応急処置はしますが、けが、体調不良等予期せぬ出来事があった場合は、緊急搬送が必要と判断した時以外は深夜でも参加児童健康調査カードに記入いただいた緊急連絡先へ連絡し、保護者に迎えに来ていただきます。緊急搬送された場合には保険証を持参して搬送先医療機関へおいでください。
- ・最終日は、〇〇時頃の解散になっています。宿泊場所まで迎えをお願いします。

9 連絡先

- ・スタッフへの連絡は、下記の電話をお願いします。

宿泊場所	〇〇公民館	TEL
	責任者	長野太郎 (123-4567-8901)

つうがくがっしゅく
通学合宿のしおり



平成 年 月 日() ~ 月 日()

〇〇通学合宿実行委員会

1 はじめに

このしおりには、通学合宿の目的、当日、注意してほしいことなどをまとめてあります。合宿までに必ず読んで参加しましょう。

2 通学合宿の目的

通学合宿は、地域の公民館などの宿泊施設で〇年生から〇年生が共同で生活体験することにより、普段の生活に必要なことを身につけ、お互いを思いやり協力し合う心を育てることを目的としています。また、通学合宿に協力していただく地域の人たちとの結びつきも強めます。

3 通学合宿のときと場所

- ・とき 平成 年 月 日 () ~ 月 日 () 2泊3日
- ・場所 〇〇公民館

4 参加者のおきて

通学合宿を仲間との楽しい思い出にするために、次の“おきて”を守ってください。

- ① ゲーム機、携帯電話、テレビ、ラジオ、マンガ、雑誌、お菓子など活動に必要なものは持ってきてはいけません。
- ② 通学合宿の期間中は、塾、習い事、スポーツ少年団活動などには参加できません。
- ③ 自分のことだけでなく、班のメンバーと協力して、食事準備、後片付け、掃除などをします。
- ④ 上の学年の子は、下の学年の子の面倒を見ます。
- ⑤ 朝起きた時、登校時、下校時、寝る時、食事時などのあいさつをきちんとします。

5 通学合宿の日程

通学合宿のスケジュール表を見て、スケジュール表に基づいて5分前行動を心がけましょう。

6 持ち物

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 水・木・金曜日の学校の準備物 | <input type="checkbox"/> 着替え〇日分 |
| <input type="checkbox"/> タオル3枚 | <input type="checkbox"/> バスタオル2枚 |
| <input type="checkbox"/> パジャマ | <input type="checkbox"/> 洗面用具（歯ブラシ） |
| <input type="checkbox"/> ハンカチ3枚 | <input type="checkbox"/> ティッシュ（自分で使うと考えられる量） |
| <input type="checkbox"/> お薬（毎日飲む薬） | <input type="checkbox"/> エプロン・三角巾・マスク |
| <input type="checkbox"/> 汚れ物を入れるビニル袋 | <input type="checkbox"/> 保険証のコピー |
| <input type="checkbox"/> レジ袋3枚以上 | <input type="checkbox"/> ぞうきん |
| <input type="checkbox"/> その他（体調により必要なものがある人） | |

- * 持ち物には名前を書きましょう。
- * 学校の予定は、○曜日に3日分の連絡をしていただきます。
- * 荷物については、おうちの方に1日目の○：00～○：00の間に運んでもらってください。
- * 忘れ物等を届ける場合は、○：00までをお願いします。

7 連絡先・その他

- * スタッフへの連絡は、下記の電話をお願いします。

宿泊場所 ○○公民館 Tel
 責任者 ○○ ○○ (123-4567-8901)

8 通学合宿班別名簿

◎は班長、○は副班長

1 班 ()							
番号	学年	性別	氏 名	番号	学年	性別	氏 名
①			◎	④			
②			○	⑤			
③				⑥			

2 班 ()							
番号	学年	性別	氏 名	番号	学年	性別	氏 名
①			◎	④			
②			○	⑤			
③				⑥			

3 班 ()							
番号	学年	性別	氏 名	番号	学年	性別	氏 名
①			◎	④			
②			○	⑤			
③				⑥			

4 班 ()							
番号	学年	性別	氏 名	番号	学年	性別	氏 名
①			◎	④			
②			○	⑤			
③				⑥			

〇〇〇〇通学合宿実施計画（例）

〇〇〇〇通学合宿実行委員会

1 目的

異年齢での集団生活から、自分のことは自分でする自立心や他人を思いやる心、家庭や地域の人達への感謝の心を育てるとともに、コミュニケーション能力を高める。

また、数日間親子離れ離れの生活を通し、親子がお互いを見つめ直し家庭教育を見直す機会とする。

さらに、地域住民がそれぞれの立場で参加することで、子どもたちへの理解を深め、地域での協力体制を整備し、地域の子どもの地域で育む意識を高める。

2 主催

〇〇〇〇通学合宿実行委員会

3 期日 平成20年〇月〇日（水）～〇月〇日（土） 〇泊〇日

4 宿泊場所 〇〇〇〇公民館 電話：
住所： 緊急時の連絡先：090- (〇〇)

5 参加者 小学4年生～6年生 〇〇名 男子 名、女子 名
4年生・・・〇名、5年生・・・〇名、6年生・・・〇名

6 協力者 〇〇小学校PTA役員、〇〇子ども会、〇〇婦人会、〇〇ジュニアリーダー、〇〇中学校生徒、〇〇大学生、

7 費用 一人あたり 〇〇〇〇円（食費、シーツ代、保険料など）

8 約束ごと

- ・ 班長（高学年）が中心となり、勉強・遊び・掃除・食事の配膳・片付けなど、グループで協力してやる
- ・ 学年の違う子や地域の大人たちとの交流を深める
- ・ テレビ・マンガ・お菓子・携帯電話のない生活をする
- ・ 合宿終了后感想文を書く

9 参加者の持ち物

〇日分（〇泊〇日の場合）の着替え（下着・体操服・パジャマなど）

水筒、お椀、はし、学校の持ち物、常備薬など 別紙「持ち物点検表」参照

10 実行委員会で準備するもの

参加児童・保護者名簿、役員・ボランティア名簿、緊急連絡先一覧、健康調査票
救急用具一式、懐中電灯、ゴミ袋、掃除用具一式、調理道具一式、食器類一式、
文具一式 など

11 親子説明会の開催

○月○日 () PM ~ 2時間程度 (場所：○○○○)

「○○○○通学合宿のしおり」をもとに通学合宿親子説明会を開催しますので、参加承諾書・健康調査票、自己紹介カード、参加費を持参してください。

12 運営組織

(1) 役割分担 役割分担表により責任をもって指導・管理すること

(◎印は主担当、○印は副担当)

実行委員長	
副委員長	
通学合宿リーダー	
庶務・会計担当	◎ ○
食事担当	◎ ○
記録担当	◎ ○
生活指導担当	◎ ○
物品管理担当	◎ ○

*役員(実行委員)：○○名 *ボランティア：○○名 (名簿は別記)

(2) 各担当の仕事内容 (主なもの)

実行委員長	実行委員会・打ち合わせ会の司会進行、運営面全体の推進
副委員長	実行委員長の補佐
通学合宿リーダー	プログラムの企画、リスクマネジメント総括、宿泊施設、学校など関係機関との連絡調整
庶務・会計担当	日程表、ボランティア当番表の作成、開校式・閉校式の司会進行 会費の集金、現金の管理、全体事業費の管理、会計簿への記録
食事担当	献立の作成、給食業者との連絡、食事当番(ボランティア)の協力依頼 配膳・片付け指導、ゴミ処理の確認
記録担当	実行委員会・打合せ会での議事記録、写真撮影、各日の活動記録 参加者への記念写真の配布
生活指導担当	子どもたちの生活指導、荷物整理・宿泊施設での生活・健康管理 就寝時の様子を観察・入浴指導
物品管理担当	必要な物品の購入・納品・管理、生活に必要な備品類の確認・手配



スケジュール

○月○日（木）～△月△日（土）○泊○日

	○月○日（木）	○月○日（金）	○月○日（土）
スケジュール	朝		
	学校生活	学校生活	
	夕方		

【通学合宿で気を付けること】

<食事>

- ・買出し係・調理係・配膳係など役割分担は事前説明会で決めます。
- ・食事時間は30分程度で全員そろって食べます。
- ・使用した食器（水筒・お椀・はし等）は自分で洗います。

<生活全般>

- ・朝、登校時、下校時、就寝時などのあいさつをします。
- ・荷物の整理整頓をして部屋をきれいにしておきます。
- ・高学年の子どもは低学年の子どもの面倒をみます。
- ・班（学年縦割り）で仲良く・協力します。

<入浴>

- ・時間・マナーを守って他の人に迷惑をかけません。
- ・家庭でも入浴のルールを指導しておいてもらいます。

<就寝>

- ・寝る前までに次の日の準備をします。
- ・翌日の学校の授業に影響が出ないように早めに就寝します（PM10:00頃までに）。

【健康管理に関する留意事項】

- ・体調がすぐれないときは早めにスタッフに連絡します。
（スタッフは常に子どもの体調管理に注意にします）
- ・事前に参加者個人の健康状態及び健康上の注意事項を保護者から聞いておきます。

実施団体：○○○○実行委員会（

）

協力団体：

指導者（スタッフ）の皆様へ

1 取組趣旨の共通理解

- 子どもたちが主体的に行動し、自己効力感・自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を育むことをねらいとするものである。
- “地域の子どもは地域で育む”といった考え方のもと実施するものである。
- 地域の大人達のネットワークを広げる場でもある。

2 子どもへの関わり方

- 基本的なことは教え、その後は子どもを信頼して見守りながら任せる【過干渉は×】
- 子どもたちに役割を与え、やり遂げる機会を与える【自己効力感、達成感】
- 子どもたちの自発的な行動は可能な限り抑制せず見守る【自主性の尊重】
- 子どもからのわがままな要求を容易に受容しない【忍耐力】
- ルールに反する行動や危険な行動をしたときには、理由を説明しながらきちんと叱る【規範意識】
- がんばった子どもは褒める【満足感・充実感】

3 安全管理

参加する子どもについて「健康調査票」により健康状態などを把握し、体調管理に務める。

活動中に気になったことについては、細かなことでもスタッフ間で打ち合わせをして情報共有に努める。特に次の事項については留意をする。

- 登下校時の交通安全・連れ去りの防止
集団登下校・付添い人（複数人）の配置、あいさつ・声掛け運動、外部からの不審者侵入への対応、不審者情報等の収集、スタッフの判別（名札等）警察等への事前告知
- 調理時の事故・けが防止
包丁の扱い、火・ガスの扱いなどの事前講習の実施、ボランティアの配置、食中毒への対処
- 自由時間での事故防止
活動場所の限定、安全ボランティアの配置、危険物の持ち込み禁止
- 就寝時の注意
睡眠時間の確保、低学年の子どもへの対応、夜尿・寝ぼけくせの対応、子どもと一緒に寝る
- 健康管理上の留意事項
参加者の健康状態（持病・アレルギー）の事前把握、睡眠時間の確保、女子児童への配慮

4 特別に留意すること

- 女子児童の体の変調への対応
環境が変わると、初経が訪れたり体に変調が現れることがあります。その際は即時保護者へ連絡します。生理用品は必ず準備しておくとともに、女性スタッフが不在になることがないように気をつけます。
- 夜尿への対応
事前に保護者と打ち合わせをし、夜間の起こし方、失敗してしまった時の対処の仕方等を確認しておきましょう。もし、失敗しても大丈夫と安心させて参加させてください。万が一失敗した時は、他の子が起きる前に着替える等の配慮をします。

●寝ぼけくせへの対応

健康調査票などに「寝ぼけくせ」に関する記載がある場合には、事前に保護者と連絡を取り、対応方法を確認しておきます。

●ホームシックになった子どもへの対応

ちょっとしたきっかけで「お家に帰りたい」と泣き出す子もいます。傍らに付き添い一緒にいるだけで信頼できる大人の存在に気づき安心します。翌日からは友だちの中に戻る事がほとんどです。

●集団での入浴を嫌がる子

体にアザがある等で友達と一緒に入浴することに抵抗がある子もいます。なぜ一緒に入浴できないか、丁寧に聞くことが重要です。

5 情報管理の徹底

参加児童、ボランティアスタッフの個人情報については厳重に管理します。

地域の方が実行委員会に参加している場合など、児童や家庭に関する事項や児童の健康に関する情報は知られたくないものが多数含まれています。

絶対に関係者以外に漏れることのないよう特に以下の事項については留意します。皆さんの仕事は“子どもたちへの支援”です。

●子どもの前では携帯電話・スマートフォンは使用しない。

(子どもが使いたくなくなってしまうことと、通学合宿の様子を安易にネットに投稿してしまうのを防ぐためです。)

●通学合宿の様子を安易にネット上へ投稿しない。

●参加児童と個人的に住所等の情報交換は禁止。

●写真・動画を撮影する際には、参加児童及び保護者へ了解を得ること。

～「通学合宿成功のカギは、スタッフと子ども、保護者そして地域の方々との信頼関係づくりです～

【スタッフ心得】

- 1 子どもたちへの支援がお仕事です！
- 2 子どもにはできるだけ声を掛け、笑顔で接しましょう！
- 3 保護者や地域の方々にも“あいさつ”・“笑顔”が基本です！
- 4 “通学合宿”をきっかけに集まった仲間との交流を深めましょう！
- 5 子どもが主役です。宿泊施設・活動場所での飲酒・喫煙はできません！
- 6 地域のルールやマナーを尊重しましょう！
- 7 情報管理を徹底し個人情報の流出に注意しましょう！



